

=====
=====
** 日本学術会議ニュース・メール ** No.907 ** 2024/12/27
=====
=====

■-----
【参加者募集中】「持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2024『持続可能なイノベーション創出のためのエコシステム～2040年の科学・学術と社会を見据えて～』」
-----■

『世界の多様な若手による「イノベーション創出を阻む問題」への挑戦！』をキャッチフレーズに、2025年2月3日(月)に「持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2024『持続可能なイノベーション創出のためのエコシステム～2040年の科学・学術と社会を見据えて～』」をハイブリッド形式(日本学術会議講堂及びオンライン)で開催します。今回の国際会議では、お子さんの同伴を歓迎するとともに、日本学術会議内に託児所を設置いたします。奮ってご参加ください。

◆対面の参加登録(先着順)はこちらから(要登録・参加無料(※)、定員 150名)

<https://icsts2024.pco-prime.com/?lang=jp>

※現地までの交通費及び宿泊費は、自己負担でお願いいたします。

◆オンラインの参加登録はこちらから(要登録・参加無料、定員 450名)

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_rPvvyVhuQ1Gn-vkpNURFAQ

◆専用ホームページはこちらから(登壇者略歴、会議コンセプト等掲載)

<https://www.scj.go.jp/ja/int/kaisai/jizoku2024/ja/index.html>

【日時(日本時間)】2025年2月3日(月)13:00-17:30

【主催】日本学術会議(国際委員会持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2024 分科会)

【後援】内閣府科学技術・イノベーション推進事務局、文部科学省

【開催趣旨】

2023年に日本学術会議「若手アカデミー」が公表した、見解「2040年の科学・学術と社会を見据えていま取り組むべき10の課題」(下記URL参照)を基に、世界の多様な若手代表者がイノベーション創出を阻む問題に挑戦します。

オーストラリア、カナダ、中国、インド、韓国、シンガポールから、また国際連合教育科学文化機関(ユネスコ)から新進気鋭の若手と日本の若手研究者が集結します。日本の事例を出発点に、持続可能なイノベーション創出のためのエコシステム形成に向けた課題や対応策について、国際的な共通点や差異にも焦点を当てながら、世界

の(若手)研究者、行政、産業界、市民社会とともに議論します。

・見解「2040年の科学・学術と社会を見据えていま取り組むべき10の課題」

<https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-25-k230926-4.pdf>

【使用言語】英語(日英同時通訳あり)

【プログラム(予定)】

開会挨拶

13:00-13:05 開会挨拶:光石 衛(日本学術会議会長)

13:05-13:10 来賓挨拶:調整中

13:10-13:15 趣旨説明:加納 圭(滋賀大学教育学系教授、日本学術会議「国際委員会持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2024 分科会」委員長)

基調講演

13:15-13:40 基調講演1:小野 悠(豊橋技術科学大学大学院工学研究科准教授、日本学術会議若手アカデミー代表)

13:40-14:05 基調講演2:オドレ・モアズ(マギル大学化学部教授)

14:05-14:30 基調講演3:フェビアン・メドヴェッキ(オーストラリア国立大学科学院科学意識向上センター准教授)

14:30-14:55 基調講演4:唐昆(清華大学万科公共衛生健康学院准教授)

休憩

14:55-15:15

パネルディスカッション(1.越境研究の推進、2.地域連携の推進、3.国際連携の推進、4.人材の育成・キャリアパスの整備、5.研究環境・業界体質の改善、6.イノベーションの推進等含め議論します)

15:15-17:25 モデレーター:標葉 隆馬(大阪大学・社会技術共創研究センター准教授、日本学術会議「国際委員会持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2024 分科会」副委員長、日本学術会議若手アカデミー副代表)

パネリスト:ソヨン・イム(東亜大学インターディシプリナリー・スターディーズ・カレッジ助教授)

チャンドラ・シェカール・シャルマ(インド工科大学ハイデラバード校化学工学部教授)

杉浦 愛(UNESCO 科学プログラム専門員)

スルフィカール・アミール(南洋理科大学社会科学部准教授)

吉川 真由 (ARCH Venture Partners シニアアドバイザー)
井上 眞梨 (株式会社メルカリ R4D マネージャー)

閉会挨拶

17:25-17:30 閉会挨拶: 日比谷 潤子 (日本学術会議副会長)

●本件問い合わせ先

持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2024 事務局 (株式会社プライムインターナショナル内)

E-mail: icsts2024@pco-prime.com

営業日・営業時間 (月)~(金) 10:00-17:00 ※土・日・祝日・年末年始
(12月28日~1月5日)はお休み

日本学術会議 YouTube チャンネル

https://www.youtube.com/channel/UCV49_ycWmnfhNV2jgePY4Cw

日本学術会議公式X

https://x.com/scj_info

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

<http://jssf86.org/works1.html>

=====

日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

過去のメールニュースは、日本学術会議ホームページに掲載しております。

<https://www.scj.go.jp/ja/other/news/index.html>

【本メールに関するお問い合わせ】

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できません。

本メールに関するお問い合わせは、下記の URL に連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

=====

発行: 日本学術会議事務局 <https://www.scj.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34